

(別紙)

1. 環境保全基金の残高

年度	項 目		金 額 (円)	備 考
令和4年度	①	年度当初基金残高	302,882,084	
	②	基金運用益	26,371	
	③	寄付金等収入		
	④	福井県エネルギー環境政策推進課、環境社会推進課 農林水産部高づくり課	24,070,909	
令和5年度	⑤	年度当初基金残高	278,837,546	(=①+②+③-④)
	⑥	基金運用益	13,246	
	⑦	寄付金等収入		
	⑧	処分額	53,098,938	内訳は下表のとおり
	⑨	年度末基金残高	225,751,854	(=⑤+⑥+⑦-⑧)

2. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考
		合計	一般財源等	基金充当額	
1	自然と共生する社会づくりの推進	4,521,205		4,521,205	
2	地球温暖化対策の推進	42,155,000		42,155,000	
3	環境について自ら考え行動する人づくり	6,541,683	118,950	6,422,733	
4		0			
5		0			
6		0			
7		0			
8		0			
9		0			
10		0			
11		0			
12		0			
13		0			
14		0			
15		0			
16		0			
17		0			
18		0			
19		0			
20		0			
合 計		53,217,888	118,950	53,098,938	

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	自然と共生する社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全対策事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県エネルギー環境部自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

奥山や身近にある自然の大切さを認識し、自然とふれあう機会を増やすことにより、県民の自然環境を保全・再生する意識を醸成し、活動につなげていくことを目指す。

2. 概要

本県の豊かな自然とふれあえる環境を整え、次世代を担う子どもなどを対象に森から海湖まで様々な環境での自然体験や学習の機会を提供する。

3. 根拠法令等

福井県環境基本条例

4. 実施内容等

- (1) 「残そう・伝えよう！」身近な生きものの保全事業【1,549千円】
地域と小学校が共働し、地域の身近な自然環境の保全・再生を行うため、子どもたちが地域の自然再生団体とともに身近な生きものの調査・保全活動を行った。
○支援団体：8団体
○参加学校：9校
○参加児童：約300名
- (2) 里山文化体験講座【221千円】
地域のお年寄り等を講師に、里山里海湖（さとやまさとうみ）の伝統的な人の営みを題材とした里山文化を体感することで環境意識を啓発するとともに、里山里海湖に関する知識・情報を提供し、県民の保全活動の意識を高めた。
○体験講座実施回数 4回
○参加者数 90人
- (3) 森と海湖のつながり体感事業【2,751千円】
気軽に県民が里山里海湖体験ができる機会を提供することで、県民の環境意識を啓発するとともに、里山里海湖に関する知識・情報を提供し、県民の保全活動の意識を高めた。

○里山里海湖体験活動に取り組む県内団体の情報発信・研修会
・活動PR回数 4回
・研修会開催回数 1回
・資機材貸与による里山保全活動実施回数 74回
○里山里海湖体験活動を行う登録団体の体験会を開催
・開催団体数 1団体

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	自然と共生する社会づくりの推進	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全対策事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県エネルギー環境部自然環境課	終了年度	令和9年度

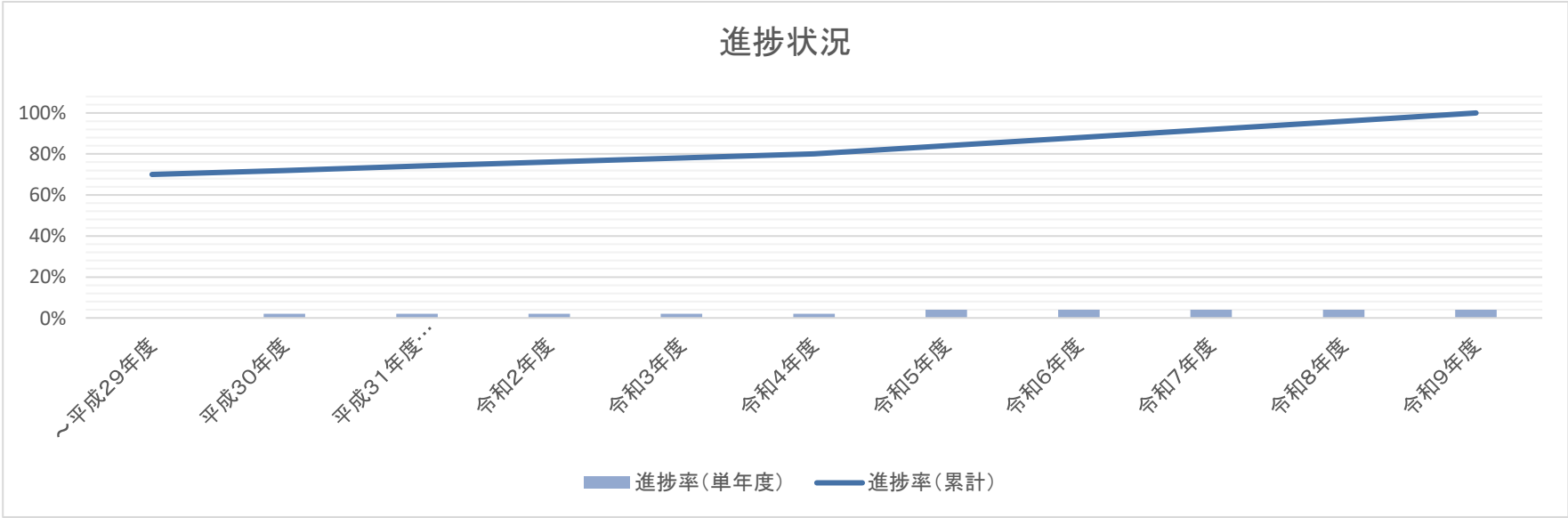
5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0			
職員旅費	0			
講師旅費	0			
消耗品費	50,733		50,733	
食糧費	1,702		1,702	
印刷製本費	463,430		463,430	
修繕料	268,840		268,840	
役務費	229,406		229,406	
委託料	1,888,524		1,888,524	
使用料・賃借料	67,130		67,130	
備品購入費	0			
補助金	1,549,040		1,549,040	
負担金	2,400		2,400	
合計	4,521,205	0	4,521,205	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,903	9,549	5,953	7,774	4,435	4,521	7,284	8,500	8,500	8,500
事業費 (累計)		4,903	14,452	20,405	28,179	32,614	37,135	44,419	52,919	61,419	69,919

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		2%	2%	2%	2%	2%	4%	4%	4%	4%	4%
進捗率 (累計)	70%	72%	74%	76%	78%	80%	84%	88%	92%	96%	100%



事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策の推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県エネルギー環境部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

地球温暖化問題は我々の生命・生活の基盤に直接関わることであり、県全体が将来世代のことに目を向けることが重要である。省エネをはじめとするさまざまな対策を進めていくにあたり、県民が自発的に省エネ対策に取り組むための意識醸成を図る。

2. 概要

温室効果ガスの削減には、県民や事業者が、各々の生活、事業活動の中で、身近な取組みを着実に実践することが重要である。温室効果ガスの更なる排出削減に向け、「電気使用量が多い」「世帯当たりの自動車保有台数が全国1位」といった本県の課題に対応する実践的な県民運動を展開する。

3. 根拠法令等

福井県環境基本条例

4. 実施内容等

- (1) 家庭でできる省エネ活動の推進【27,163千円】
地球温暖化防止を県全体で推進するため、手軽に取り組める省エネ活動を県民に強く意識させ、自ら実践するよう創意工夫した普及啓発を実施
- ①ウォームシェア（11月～2月）の実施
ウォームシェアスポット（冬の期間、暖かく過ごせる場所）を訪れた県民が参加する、QRコードを活用した非接触型のスタンプラリーを実施し、節電等の家庭における省エネの推進を図った。
12月20日には映画館にて特別上映会を実施し、会場ではウォームシェアの啓発を実施
【QRコード設置施設数】188箇所
【特別上映会参加者数】90人
- ②うちエコ診断の推進
家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報を基に、家庭のライフスタイルに合わせて省エネ対策を提案する「うちエコ診断」の利用を促すため、イベント等において説明や入力補助を実施
【対面での診断実施件数】225件
- ③節電キャンペーンの実施
家庭の節電を促す取組みとして、ライトダウンキャンペーンを実施
夜間の一斉消灯を呼びかけ写真投稿イベントを開催、またランドマークでも消灯を実施
【実施日】11月23日、【写真投稿件数】55件
- ④ネットゼロエネルギーハウス（ZEH）普及啓発イベントの実施
温室効果ガスの削減に加えて、生活を豊かにするZEHの様々な魅力を広く県民に周知し、ZEHの普及促進を図った。
○省エネ住宅の良さを周知するためテレビ番組を作成（15分番組）
○2月10日：省エネ住宅関連のイベントに出展、普及啓発を実施
○2月3日～25日：ZEHの家体験キャンペーンを実施（モデルハウスでの省エネ効果の体感 等）
- ⑤スマートムーブキャンペーン
「移動をエコに」をテーマに、エコドライブや公共交通機関の利用促進について啓発を実施
○公共交通機関の利用促進などに向けた動画の作成
○自転車の利用やエコドライブなどのテーマでテレビ番組を放送

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策の推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県エネルギー環境部環境政策課	終了年度	令和9年度

⑥各媒体などを活用した環境保全意識醸成の広告 新聞やテレビなどを活用して、環境への関心が低い層に向けて地球温暖化防止を意識させるようなPRを実施 ○省エネについてお知らせするテレビ番組（120秒）を放送 【放送番組数】32本 ○番組の制作にあたっては、福井県内で活動するインスタグラマーや県内スポーツチームと協力 ○その他、CMや新聞、メルマガ、SNSなどでも情報を発信 （2）環境配慮行動促進アプリの開発【8,998千円】 省エネ行動等の習慣化や無関心層への拡大を図るため、多くの県民が日常的に使用しているスマートフォンを活用し、環境に配慮した行動を促すアプリ「ふくeco」を開発した。 【搭載機能】 ○利用者の省エネ行動に対しポイントを付与し、ポイントは景品と交換に使用できる。 （景品は県内企業からの協賛品を使用） ○利用者の省エネ行動の効果を見える化（CO2削減効果が確認できる等） ○管理者から利用者への通知機能 ○利用者へのアンケート機能 など （3）「ふるさと環境フェア2023」の開催【5,994千円】 県民への地球温暖化の現状と対策や自然環境問題の周知、循環社会の形成意識の醸成、生物多様性保全意識、カーボンニュートラルへの理解の定着のため、イベントを通じ、楽しく見て触れて体験してもらう環境学習の場としてふるさと環境フェアを開催した。 【テーマ】未来へつなげるふくいので（わ）～取り組もうSDGs！目指そうカーボンニュートラル！～ 【開催日】11月23日（木・祝） 【開催場所】福井県産業会館 【催事内容】 ○環境保全に関連する講演会、活動報告等 ○体験コーナー（自然の大切さを学ぶ、県産材を使用した遊具、地球温暖化の影響等を学ぶパネル展示 等） ○県内企業、団体・NPOの環境に対する取り組みの紹介やステージ発表 など 【参加者数】約4,000人

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
職員旅費	0			
講師旅費	0			
印刷製本費	0			
借料	0			
委託費	0			
補助金・負担金	42,155,000		42,155,000	
合計	42,155,000	0	42,155,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		14,984	24,796	21,559	23,196	16,808	42,155	32,086	37,000	31,000	37,845
事業費(累計)		14,984	39,780	61,339	84,535	101,343	143,498	175,584	212,584	243,584	281,429

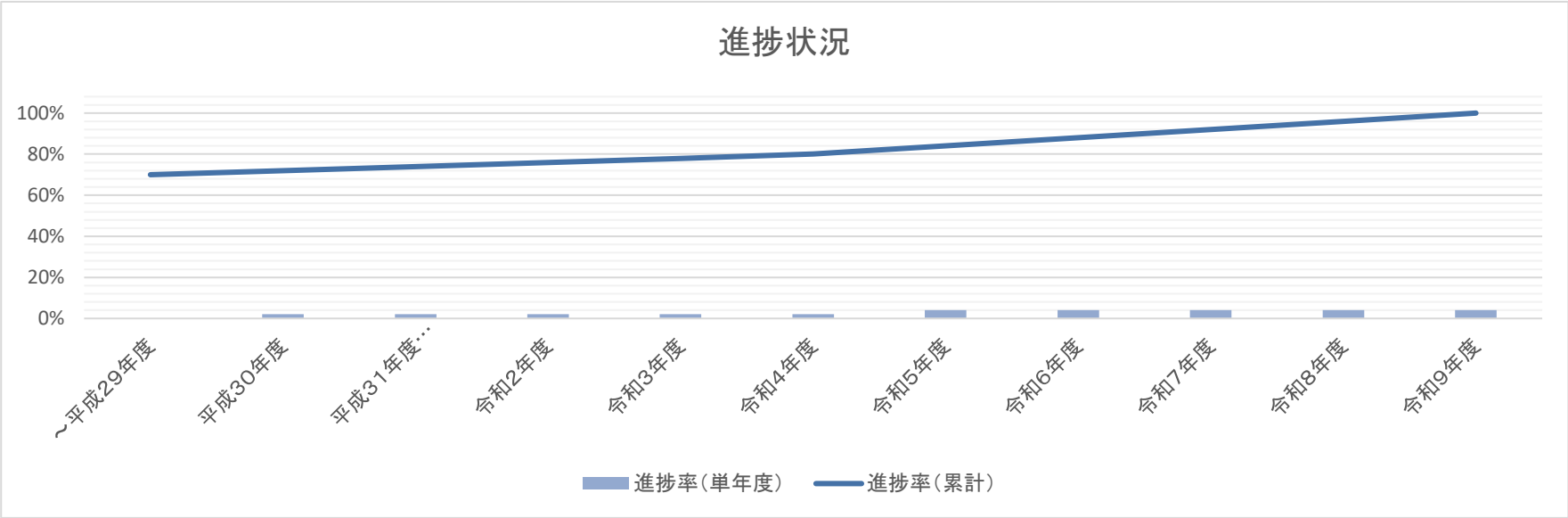
事業番号

令和 5 年度 事業報告書

事業名	地球温暖化対策の推進	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化ストップ県民運動「ゼロカーボンアクション」強化事業	開始年度	平成 3 0 年度
担当部署	福井県エネルギー環境部環境政策課	終了年度	令和 9 年度

6．進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率（単年度）		2%	2%	2%	2%	2%	4%	4%	4%	4%	4%
進捗率（累計）	70%	72%	74%	76%	78%	80%	84%	88%	92%	96%	100%



事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	環境について自ら考え行動する人づくり	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県エネルギー環境部環境政策課、循環社会推進課 農林水産部森づくり課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

「未来を創る力」と「環境保全のための力」を育む 「未来を創る力」 課題を発見・解決する力やコミュニケーション能力、多様な視点から考察し、多様性を受容する力 「環境保全のための力」 環境配慮行動をするための知識・技能や環境保全のために行動する力

2. 概要

楽しく環境活動に参加できる機会の提供や若年層の環境教育指導者の育成などを行い、若者の環境美化活動への参加を促す。また、県民の主体的な活動を促進していくことで問題の解決を図り、持続可能な社会の構築を目指す。
--

3. 根拠法令等

福井県環境基本条例

4. 実施内容等

（1）クリーンアップふくい大作戦事業【825千円】 海洋ごみや河川ごみをテーマに、市町や企業・団体等とともに県下一斉に環境美化活動を展開した。 ○ごみ拾いイベント開催状況 令和5年4月～令和6年3月 計26回開催 参加者数：約18,000人 （2）きれいなまちづくり事業【630千円（うち基金充当511千円）】 市町、自治会、事業者が主体となった清掃美化活動を展開する。また花植え活動を実施する団体・企業へ花の種まきに必要な資材を提供する。 ○クリーンアップ&フラワー大作戦の実施 参加団体：81団体 （3）環境アドバイザー事業【904千円】 県民の環境に関する理解を深め、行動につなげるために、環境学習会を行う団体等の要請に応じ、講師（環境アドバイザー）を派遣した。 ○環境アドバイザー派遣人数 延べ124人 （4）ふくいの未来へつなぐ環境学習事業【636千円】 県内の環境に配慮した先進的な取り組みや、環境保全に寄与する技術を有する企業・団体の協力を得て、小学生を対象にした環境について学ぶ体験活動と座学をセットにした学習会を開催した。 ○8/8「敦賀deカーボンニュートラル」 ・参加者数：9名（県内の小学4～6年生） ・内 容：・バイオマス発電所見学、発電教室（発電の仕組み） ・協力企業：敦賀グリーンパワー株式会社 ○8/12「福井deカーボンニュートラル」 ・参加者数：9名（県内の小学4～6年生） ・内 容：・海洋資源保全とCO2吸収量について、プラスチックの再資源化体験 ・協力企業：トンカンテラス（株式会社プレシャスプラスチック）
--

事業番号

令和5年度 事業報告書

事業名	環境について自ら考え行動する人づくり	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	福井県エネルギー環境部環境政策課、循環社会推進課 農林水産部森づくり課	終了年度	令和9年度

(5) 大学生のエコラーニング事業【1,815千円】 県内の大学生等を対象に、屋外での体験活動を伴うワークショップを開催した。 また、学生が「出会い」や「つながり」への関心を高める年度初めや長期休業中などの時期に交流の場を提供することで、より多くの若者に環境保全活動への参画を促した。 ○8/21「第1回ツアー」 ・参加者数：4名 ・内 容：資源循環学習、再資源化体験、海洋レク体験 ○11/11「第2回ツアー」 ・参加者数：18名 ・内 容：省エネ・再エネ学習、里山保全学習、キャンプ体験 ○11/18「第3回ツアー」 ・参加者数：27名 ・内 容：・自然環境学習、気候変動教育、アウトドア体験 (6) プラスチックごみ削減対策事業【1,731千円】 海洋へのプラスチック流出を防止するとともに、プラスチック廃棄物全体量の削減、持続可能な回収・再生利用を推進 ○プラスチックによる海洋汚染のパネル展示の実施（6月） ○マイボトル普及啓発チラシの配布（6月） ○ショッピングセンター等でのマイボトル特設コーナーの設置（6月） ○マイボトル持参率向上のためのセミナーを開催（12月） ○マイボトル運動推進サポーター登録数：134団体 ○プラスチック代替製品利用拡大のための普及啓発支援（7団体） ○ポイ捨てストップキャンペーンの実施（12回） ○ポイ捨てゼロ宣言登録事業所数：192事業所

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備 考
報償費	269,280		269,280	
職員旅費	0		0	
講師旅費	0		0	
消耗品費	952,946	39,750	913,196	
食糧費	0		0	
印刷製本費	431,725		431,725	
役務費	321,680	79,200	242,480	
委託料	2,153,800		2,153,800	
使用料・賃借料	13,310		13,310	
補助金・負担金	2,398,942		2,398,942	
合計	6,541,683	118,950	6,422,733	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		4,378	6,767	3,160	3,239	2,828	6,423	11,991	13,511	13,511	11,511
事業費 (累計)		4,378	11,145	14,305	17,544	20,372	26,795	38,786	52,297	65,808	77,319

事業番号

令和 5 年度 事業報告書

事業名	環境について自ら考え行動する人づくり	新規・継続区分	継続
事項名	環境教育・活動推進事業	開始年度	平成 3 0 年度
担当部署	福井県エネルギー環境部環境政策課、循環社会推進課 農林水産部森づくり課	終了年度	令和 9 年度

6．進捗状況等

年度	～平成 2 9 年度	平成 3 0 年度	平成 3 1 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
進捗率（単年度）		5%	5%	5%	5%	5%	6%	6%	6%	6%	6%
進捗率（累計）	45%	50%	55%	60%	65%	70%	76%	82%	88%	94%	100%

